

鳥取県立図書館からの報告

(対象期間：令和元年12月～令和2年11月)

(報告者) 鳥取県立図書館

郷土資料課 藤原拓也

1. 資料展示

(1) 特別資料展示 (特別資料展示室における展示)

	期間	タイトル	入場者
令和元年度	11月19日～ 12月23日	とっとり文学の情景 情景を生みだす風景と旅	332名
令和2年度	4月10日～ 6月10日	「杉原一司関係資料」展 主催：「杉原一司歌集」刊行会	218名
	7月10日～ 8月30日	鳥取県内観光地めぐり「もっと楽しも！！鳥取県」 (県庁観光戦略課から資料提供あり)	112名
	10月1日～ 11月11日	特別資料展 県民に役立ち、地域に貢献する図書館—県立図書館30年のあゆみ—	

(2) ミニ展示・企画展示 (郷土資料室及び一般図書室の展示スペースを利用した展示)

	期間	タイトル
令和元年度	10月26日～11月13日	昭和～あの頃のとっとり 鳥取県内各地で撮影された写真を集めた写真集、新聞で報道された出来事を紹介した本など様々な資料で、昭和の鳥取を振り返る。
	11月16日～12月11日	生誕120年 写真家 塩谷定好—芸術写真と山陰—
令和2年度	3月18日～4月8日	東京大学名誉教授 岸田日出刀
	6月12日～7月30日	コロナに負けるな！ 郷土のスポーツ選手たち ～広島東洋カープ 九里亜蓮投手～
	6月18日～8月30日	皆生温泉開発100周年 かいけの街
	8月5日～8月30日	終戦75年 戦争と平和を考える
	9月1日～9月29日	「鳥取県ができるまで～9月12日はとっとり県民の日～」
	9月1日～9月29日	鳥取県内観光地めぐり「もっと楽しも！！鳥取県」プチ
	10月24日～11月中	鳥取県出版文化賞
	11月4日～11月29日	鳥取県内図書館マップ
	11月12日～	CD利用促進展示 (1ヶ月ごとにテーマを決定し、関連図書とともに展示)

(3) 他館を会場にした資料展

	期間・会場	タイトル
令和元年度	岩美町中央公民館	デジタル化でうかびあがる岩美の魅力～デジタル化資料の活用に向けて～

2. 講演会・行事

- (1) 郷土文化講演会（2月予定）
- (2) 鳥取文学講座（2月予定） ※新規
- (3) 鳥取県に伝わる昔話を聞く会

日時：毎月第4土曜日 午後2時から30分程度

語り手：中嶋須美子氏

3. 研修・講座

- (1) 新任図書館員を対象とした実務研修会（中止）

県内図書館の新任職員等を対象にした研修会。「本の正しい扱い方と郷土資料の活用法」を講義。

- (2) 鳥取県ジュニア司書養成講座（中止）

小・中学生を対象とした「ジュニア司書」養成講座。郷土資料についての講義や郷土資料室での実習を行う予定でした。

- (3) 行政職員向け研修「図書館に学ぶ！1ランク上の情報収集講座」（中止）

鳥取県人材開発センターとの共催企画。県及び県内自治体職員の研修講座として「図書館を活用した情報収集講座」を開催。図書やインターネットを活用した情報収集、郷土資料の活用法についての講義を行う予定でした。平成18年度より継続開催。

4. 外部との連携

計画中

5. 統計および資料保存の取り組み等

- (1) 統計

利用状況（郷土資料）

	貸出冊数（一日あたり）	レファレンス
令和元年度	6,846 冊 (24.6 冊)	3,853 件
平成30年度	7,083 冊 (22.0 冊)	4,139 件

蔵書冊数（郷土資料）

令和元年度	平成30年度
146,643 冊 (全蔵書の 12.4%)	144,008 冊 (全蔵書の 12.4%)

※令和元年度 2,635 冊増加

(購入：414 冊 寄贈：2,195 冊 生産・その他：57 冊 除籍：31 冊)

- (2) 郷土関係情報の収集およびデータ入力

- ① 図書、逐次刊行物等の収集
- ② 郷土関係情報の入力・発信
 - ・「鳥取県郷土人物文献データベース」の新規文献情報の入力
 - ・図書、雑誌、研究報告書等の目次・論文名の入力
 - ・ホームページの更新（展示・行事の広報、コンテンツの更新）
- ③ 郷土関係情報の収集
 - ・新聞記事のスクラップ（地元紙・全国紙より鳥取県に関する記事をスクラップ）

(3) 資料のデジタル化計画

- ・現在は、平成15年度から17年度にデジタル化した所蔵絵図(38種類、89点)を公開。
- ・29年度に策定した「総合的なデジタル化計画」に基づき、平成30年度から令和4年度の5カ年計画で、希少性の高い貴重資料や劣化の進行が著しい資料などのデジタル化を行う(令和2年度末にデータ公開予定)。初年度(平成30年度)には様々な形態の郷土資料のデジタル化を試み、1,761点(和本等47点、掛軸等49点、色紙・短冊1,602点、その他63点)のデジタル化を行った。2年目(令和元年度)には、『鳥取県郷土調査(全62巻)』(昭和11年頃に小学校単位で地域の地誌・歴史・民俗等についてまとめた冊子)のデジタル化に着手。3年目(令和2年度)には、前年に引き続き、『鳥取県郷土調査』と、立体造形物・絵画・地図を中心に29点のデジタル化を行った。今後も継続してデジタル化資料を増やす予定である。
- ・「デジタル化の効果を広報するシンポジウム」を計画中である。
- ・令和2年度には、開館30周年記念展示内で「デジタル化された図書館のお宝」として、デジタル化した貴重資料の一部をタブレット型パソコンに画像形式で取り込み公開した。(デジタルアーカイブシステムによる公開ではない)

6. 新型コロナウイルスに関する対応

- ・県立図書館全体として、ニューノーマルを提供できるよう特設コーナー「新型コロナウイルス以降の新しい『暮らし方』・『働き方』を支える情報棚」と、医療健康分野で「新型コロナウイルスについて知る」の展示を行っているが、郷土資料課でも、より地域に密着した情報として県内自治体の支援策だけでなく、商工会などの民間団体・ボランティア活動を行う任意団体・弁護士会の情報を集め提供している。
- ・関連資料の収集については、図書・雑誌・新聞等の他、県の取り組みや図書館の対応状況などを後世に残せるよう方針を検討中。